

1987-8

No. 227

【表紙】

二枚小地白浴衣・
紗綾地貝合わせ

清水幸太郎

1952年作

・解説は30ページ

題字デザイン・桑山弥三郎

カット・林美紀子

もくじ

特集：国民文化祭

随想 文化力	細川護熙	4
地域語・日本語・コトバ	渡辺恭士	6
国民文化祭に期待して	森 義臣	6
いま、熱中してます、文化祭	安永 露子	6
国民文化祭に寄せて	山崎崇伸	7
国民文化祭に期待する	本山年光	8
国民文化祭を熊本に迎えて	野田紫水	8
新人類の参加を	橋元俊樹	8
一億人の絵画運動	白木光虎	9
全国同人誌大会に寄せて	井芹俊郎	9
自然と人間と芸術との対話	丸山久美子	10
※事業説明	第2回国民文化祭準備室	10
※第2回国民文化祭主催事業日程・会場等		13

ぶんか フンカ

命の洗濯	塚原琢哉	14
中国の民俗芸能	星野 紘	15

都道府県のページ

我が県の文化行政◎		
歴史と文化の里づくり推進事業	鳥取 県	16
特色ある文化活動◎		
洋舞連合と合同作品	宮城県洋舞団体連合	19
都道府県月間行事予定	8月	21

文化行政質問箱

著作権5	図書館資料の複製は？	22
著作権6	学校教育放送の録画・複製は？	23

文化庁だより

報告／全国高等学校総合文化祭と 全国高等学校文化連盟(全国高文連)	24
文化庁ニュース	
・昭和61年度民間芸術等振興費補助金の交付状況について	26
「伝建協」のシンボルマーク、決まる	28
展覧会紹介	
杉山 肇 展	28
タイ美術展／法華経の美	29

・文化庁行事報告及び予定	30
・国立劇場二ニュース	31

全国高等学校総合文化祭(全国高文連)

この小稿が読者の目に触れるころ、愛知県では第十一回全国高等学校総合文化祭が盛大に開催され、炎天下、パレードにあるいは演劇に合唱にと高校生諸君が若いエネルギーを爆発させていることであろう。昨年夏第十回大会が成功裡に終了し、この文化祭も高校生の真夏の祭典としてほぼ定着したのを機会にこれまでの成果をとりまとめ、あわせて現在その母体となつて全高文連についても触れてみたい。

この総合文化祭は、昭和五十一年、全国都道府県代表生徒による芸術文化部門の発表会を総的に開催し、創造活動の充実を図るとともに、相互に交流を深めることにより高等学校における芸術文化活動の振興に資することを目的として千葉県で開催された。以来回を重ねる毎に内容の充実が図られ、表Iに示すとおり、種目数、参加校数、参加生徒数と大きく伸びて今日に至っている。ところで開催県では開催前年に実行委員会を設置し準備に入るが、そのねらいとするところは大方次の三点に絞られよう。

- (一) 芸術文化活動に積極的に参加しようとする創造意欲の醸成
(二) クラブ活動、部活動の成果を発表することにより相互に啓蒙を行い、芸術文化活動の質的向上を図る
(三) 芸術文化活動を通じて高校生としての連帯感を育て、相互の交流と親睦を深める場とする
(四) シンボルマークについては第十一回、テーマソングは第十二回から、それぞれ全国高等学校文化連盟制定のものを使用することとなっている。参加部門については開催県の事情もあつて若干変更をみてきたが、全国高文連の設立とともにほぼ固まつてきており、今後さらに増加することが考えられる。(第十一回はパレード、吹奏楽、合唱、邦楽、マーチングバンド、バントワリング、器楽、管弦楽、演劇、吟詠劇詩舞、郷土芸能、放送文化、美術・工芸、書道、写真の十三部門。)

表I 全国高等学校総合文化祭実施状況

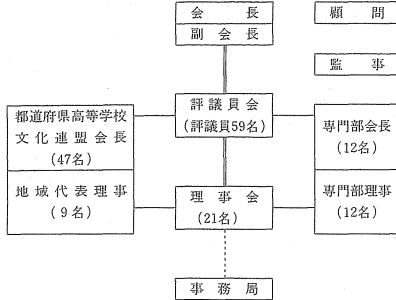
Table with 5 columns: 年度, 開催県, 参加校数, 参加生徒数, テーマ, 種目. Rows include 52 (千葉県), 53 (兵庫県), 54 (大分県), 55 (石川県), 56 (秋田県), 57 (栃木県), 58 (山口県), 59 (岐阜県), 60 (岩手県), 61 (大阪府), 62 (愛知県).

表II 高校文化祭開催県及び高等学校文化連盟結成県推移表

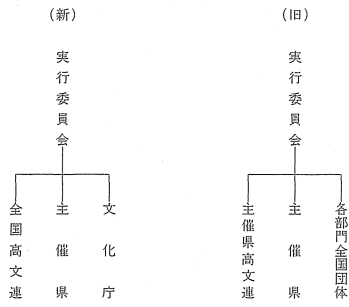
Table with 2 columns: 年度, 高校文化祭開催県数, 高等学校文化連盟結成県数. Rows from 52 to 62.

※6月現在

全国高等学校文化連盟組織図



主催県実行委員会新旧組織略図



次に総合文化祭の開催意義とその成果について触れてみよう。三年間の高等学校生活をより豊かに、より充実したものにするため、クラブ・部活動の占める役割の重要性については今更述べるまでもなからう。体育関係については全国高等学校総合体育大会が開催され実績を有しているが、文化関係についてはこのような機会に恵まれず、その実現について関係者の間に大きな期待が持たれていた。文化庁では、芸術文化を単に鑑賞するだけでなく、自ら芸術文化活動に参加することを推奨し、更に参加を通じて情熱豊かな創造性に富む人間の育成を目指すことが我が国芸術文化の将来にとって重要であるとの観点にたつて、この総合文化祭の開催を提唱したのである。開催各県ではこの趣旨を理解されて大会を開催それぞれ大きな成果を収めていることは文化庁としても誠に喜ばしい限りである。

- (一) 公・私立の交流と相互理解の促進
(二) 県民ひいては国民の高校生に対する理解の増大
(三) クラブ・部活動の活性化
(四) 全国都道府県における高等学校文化祭の定着化(表II参照)
今後の課題は、全国ネットワークによるP・R体制の確立であろう。常に全国高等

高文連結成数が過半数に達し、機は熟したとして全国高等学校文化連盟の組織化が具体的に提案された(表II参照)。直ちに結成に向けて準備作業に入ったが、事務局をどこに設置するか意見がまとまらず成り行きが心配された。幸い岩手県教育長の英断によって岩手県が事務局を引き受けることと急転回をみ、明るく六十二年二月に設立総会が開会されここに長年の悲願は達成された。

本連盟は「高等学校における生徒の創造活動の充実に資し、文化活動の健全な発展と芸術文化の振興に資すること」を目的とし、次の事業を行うこととしている(組織図参照)。
(一) 全国高等学校による文化行事の開催
(二) 芸術文化に関する研修会、講習会、鑑賞会
(三) 高等学校の文化活動に関する調査研究
(四) 高等学校文化活動の国際交流
(五) その他本連盟の目的達成に必要な事業

- (一) 本年度の事業計画によれば、第十一回全国高等学校総合文化祭の開催
(二) 第二回全国高等学校文芸コンクールの実施
(三) 「全国高文連の歌」の制定
(四) 第七回近畿高等学校総合文化祭の開催

文化庁としては今後とも出来る限り援助を続けていきたいと考えているが、一日も早い全国四十七都道府県の高文連から成る名実ともに全国高等学校文化連盟として基盤を固くなものとし、大きく飛躍することを、あわせて連盟の今後の一層の発展を期待したい。
(四) 全国高等学校総合文化祭の実行委員会は、全国高文連の設立に伴い、上記略図のように組織が変り、これに伴って従来の文化庁の主催県に対する補助金は、全国高文連に対する請負費という形に切り替えられた。(文化庁文化普及課 山田友治)

【編集後記】

暑中お見舞い申し上げます。
来年度予算の概算要求作業の真っ最
中で、予算増と新規予算の獲得を目指
して、担当者は、より熱くなり、汗を
流しています。

いよいよ今秋十月二日から、熊本県
で、地方で初めての国民文化祭の主催
事業が開幕しますが、関係者の方々は、
夏休み返上の心意気で準備に頑張っ
ていらっしゃるのではないですか。
今号では、熊本で各行事のまとめ役
として御尽力くださっている方々に、
国民文化祭への熱い思いを語っていただ
き、また、より多くの皆様方にご参
加いただけるよう事業概要を紹介いた
しております。ご参考になれば幸甚で
す。

楽しい夏休みを過ごされますよう！
(K)

広告の問合せ・申込み先

株式会社 きょうせい 営業課
TEL(0)三三六八二二四二(代表)

「文化庁月報」八月号
(通巻第二二七号)

昭和62年8月25日印刷・発行
編集 文化庁

〒100東京都千代田区霞が関3丁目2番2号
発行所 株式会社 きょうせい

本社 〒100東京都千代田区銀座7丁目4番12号
営業所 〒100東京都新宿区西五軒町52番地

電話(0)三三六八二二四二(代表)

振替口座 東京 九一六一番

印刷所 財行政学会印刷所

定価 一八〇円(送料四五百円)
年間購読料 二、一六〇円(送料共)